

## 地誌 第9回「南アジア地誌① 自然地理と社会・文化」

○今回のポイント

南アジアは言語や宗教が多岐にわたる混沌とした地域！

伝統的な制度や価値観が強く残っている！！

**南アジアの自然環境** (資料集 p.156～)

○南アジアとは？ ⇒インド、パキスタン、バングラデシュ、スリランカ、ネパールなどが含まれる地域

○地形

・新期造山帯の[① アルプス・ヒマラヤ造山帯 ]

⇒[② ヒマラヤ山脈 ]、チベット高原、パミール高原など

ヒマラヤ山脈はインド(インド・オーストラリアプレート)がユーラシア大陸(ユーラシアプレート)に衝突したことで、地層が激しく押されて隆起して山脈になったもの。

・[③ 安定陸塊 ]…インドの中部から南部にかけて広がる[④ デカン高原 ]など。

かつてのゴンドワナ大陸に属する。

ゴンドワナ大陸は、古生代から中生代にかけて南半球に広がっていた大陸。その後、分裂、移動して現在の南アメリカ大陸、アフリカ大陸、南極大陸、インド、アラビア半島などになった。

・[⑤ ガンジス川 ]…インド東部を流れ、ベンガル湾にそそぐ。

⇒[⑥ ヒンドスタン平原 ]…ガンジス川が運搬して堆積して形成された沖積平野

⇒河口部…[⑦ デルタ ]が形成され世界有数の稲作地域

・[⑧ インダス川 ]…パキスタン東部を流れ、アラビア海にそそぐ河川。流域の大部分は乾燥気候。

⇒[⑨ パンジャブ地方 ]…インダス川中流域。灌漑によって小麦や綿花などの栽培が盛ん。

○気候

### ① 季節風の影響

・[⑩ 南西 ]季節風…夏(5月～10月)に海洋から吹く湿った風。

⇒インド南西岸、インド北東部のアッサム地方に大量の降雨。

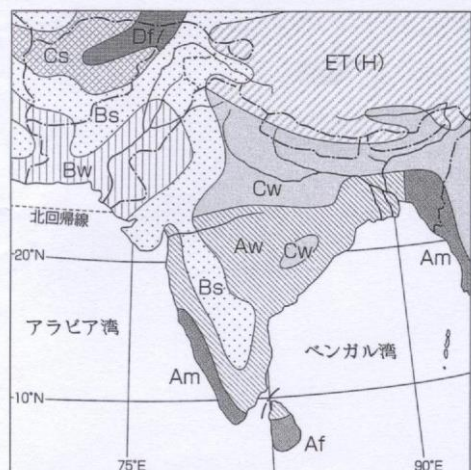
※サイクロン(インド洋で発生する熱帯低気圧)も沿岸部に大量の雨をもたらす。

・[⑪ 北東 ]季節風…冬(11月～4月)に大陸から吹く乾燥した風。広い範囲で少雨。

### ② 中緯度高圧帯(亜熱帯高圧帯)の影響

・インド北西部やパキスタンに[⑫ 乾燥帯 ]を分布させる原因。

### ③ インドの気候区分



▲南アジア・西南アジアの気候

・Af、Am…インド[⑬ 南西岸 ]や[⑭ スリランカ ]南部。年中高温多雨。

・Aw…インド東部とスリランカ北部。雨季と乾季が明瞭。

・Cw…[⑮ ガンジス ]川中上流域では季節風の影響で夏に多雨、冬に少雨。

・BS、BW…[⑯ デカン高原 ]やインド北西部からパキスタンにかけての地域。

インドの多様な文化

- ・国土面積…328.7 万km<sup>2</sup>(世界 7 位)
- ・人口…約 12.2 億人(2010 年、中国に次いで 2 位)

(1)言語

- ・全国的な公用語は[⑰ ヒンディー語]だが、言語は統一されておらず数百の言語がある
- ・補助公用語は英語、21 の憲法公認語が設定されている。
- ・北部は印欧系語、南部はドラヴィダ系語

(2)宗教

- ・ヒンドゥー教…全体の 8 割。バラモン教の教義に仏教や土着信仰が結びつき成立。
- ・[⑱ イスラーム教]…1526～1858 年にインドを支配したムガル帝国がイスラーム教国だったので信者がいる。
- ・キリスト教…ムガル帝国後、イギリスがインドを支配したので、キリスト教の信者がいる。
- ・仏教、ジャイナ教、シク教など

(3)イギリスからの独立

○英領インド

- ・インド…ヒンドゥー教徒を中心としてイギリスから独立。
- ・[⑲ パキスタン]…イスラーム教徒を中心としてイギリスから独立。東西に飛び地で分離した。  
⇒バングラデシュ：西側優遇政策が採られたため、東パキスタンが分離独立。
- ・スリランカ…[⑳ 仏教徒]のシンハラ人を中心に独立。だが英領時代にタミル系ヒンドゥー教徒が入植したので民族問題が生じている。

ヒンドゥー教と人々の生活

○カースト制度

☆[㉑ ヴァルナ](4 身分)と不可触民☆

- ・4 身分…バラモン(祭司)・クシャトリア(王侯貴族)・ヴァイシャ(商人職人)・シュードラ(隷属民)
- ・不可触民…ヴァルナの枠外に置かれた最下層民。



☆[㉒ ジャーティー]☆

- ・4 ヴァルナが細分化。祖先が同じだと信じ、そのうちでのみ通婚する血縁集団。
- ・集団間の儀礼的な上下関係から差別が派生
- ・雇用の斡旋、貧困者の援助など相互補助の側面。ジャーティーの規範を守り、来世を目指す。



ジャーティーによる身分制度は[㉓ カースト制度]と通称される。

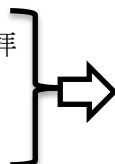
○生活と伝統

- ・肉食をしない人が多い(ただし牛の乳は摂取しても良い。)。女性は[㉔ サリー]を身につける

巨大な人口と地域差

○人口増加の要因

- ・[㉕ 宗教]的要因…子孫を増やして祖先崇拜
- ・労働力的要因…仕事の担い手、老後の安心
- ・医療的的要因…死亡率が低下



・インド政府 1960 年代から家族計画  
→都市部では 70 年代から低下。地域差激しい  
※識字率・教育普及の程度、貧富の格差により  
差異が生じる。